

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません

令和6年度佐賀県クリーニング師試験問題

2 公衆衛生に関する知識

【注 意 事 項】

- 1 解答用紙に、「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- 2 机の上には受験票と筆記用具のみを置いてください。
- 3 携帯電話は、必ず電源を切るかマナーモードにし、机の上には置かないでください。
- 4 解答は、答案用紙にHB又はBの鉛筆(シャープペンシル)で記入してください。
- 5 1つの問題には、複数の選択肢があります。1つを選び解答してください。
- 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 7 試験中にトイレ、体の不調、筆記用具の落下など試験担当者に用事がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 8 試験問題については、各自持ち帰ってください。

試験問題

【公衆衛生に関する知識】

問1 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) WHO憲章に示された健康の定義では「健康とは肉体的、精神的及び社会的に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は虚弱でないということだけではない」とされている。
- (2) 日本国憲法第25条「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」の精神に沿って各種公衆衛生対策が拡充強化されてきた。
- (3) 2019年の年齢3区分別人口の傾向としては、年少人口（15歳未満人口）が低下、生産年齢人口（15～64歳人口）と老年人口（65歳以上人口）が増加している。
- (4) わが国の水道普及率は2022（令和4）年度末現在で98%に至っている。
- (5) 産業廃棄物に含まれるごみ処理は、市町村が処分責任を有している。

問2 次の文章について、正しいものを（ ）内の2つの中から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 酸素は呼吸によって吸入され（①赤血球 ②白血球）中のヘモグロビンと結合して体内を循環している。
- (2) 熱射病は熱中症の中で最も（①軽症 ②重篤）な障害である。
- (3) 感覚温度とは、温度、湿度、（①体温 ②気流）の3つを組み合わせると暑さ寒さの感じをあらわしたものである。
- (4) BOD（生物学的酸素要求量）の値が（①大きい ②小さい）ほど水の汚れの程度が大きいことを示す。
- (5) 健康に対する自発性を促し、生涯を通じた健康増進のための個人の努力を支援する体制を整備するため、1996（平成8）年の公衆衛生審議会意見具申において、（①成人病 ②生活習慣病）の概念が導入された。

問3 次の文章の()にあてはまる語句を下記の語群から選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- ・感染症の予防対策は、感染源、感染経路および(1)の3要因に対して行われる。
- ・感染経路の対策として経口感染に対しては(2)、食物の衛生的な取り扱い、タオルや食器などの共用を避けるなどの方法がある。
- ・飛沫を介する感染に対しては、(3)、マスクの使用などが有効である。
- ・経済の発展による国際化の進展、つまり人、物の国際的な移動により、国際間の感染症の広がりの可能性の増大などを背景に1970年以降出現した、少なくとも30以上のこれまで知られなかった感染症を(4)という。
- ・感染症法に基づく分類において、結核は(5)に分類される。

【語群】

- A 新興感染症 B 宿主の感受性 C 手洗いの励行 D 1類感染症
E 指定感染症 F 人混みを避ける G 2類感染症 H 病原体 I 免疫

問4 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 一酸化炭素は、無色無臭であり、有害性は低い。
- (2) 亜硫酸ガスは、人体の気管支粘膜、眼結膜等の粘膜に影響を与え、四日市喘息の原因となった。
- (3) 浮遊粉じんは、粒子の大きさはまちまちであるが $10\mu\text{m}$ 以下のものは気管から気管支に達し、 $2.5\mu\text{m}$ 以下のものは肺胞まで達する。特に粒径が $2.5\mu\text{m}$ 以下のものをPM 2.5 という。
- (4) 紫外線は、波長が 800nm より長いものをいい、熱作用が著しい。
- (5) 原虫のクリプトスポリジウムは、塩素処理では死滅しない。

問5 指定洗濯物及びその一般的な消毒方法について、次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 旅館で使用された布団カバーは、クリーニング業法施行規則に規定する指定洗濯物に該当する。
- (2) ノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が付着したリネン類は、ペーパータオルなどで吐ぶつやふん便を取り除き、洗剤を入れた水の中で激しく振り洗いを行う。
- (3) 蒸気による消毒は、蒸気がま等を使用し、100℃以上の湿熱に10分間以上触れさせること。
- (4) 熱湯による消毒は、80℃以上の熱湯に10分間以上浸すこと。
- (5) 界面活性剤による消毒は、逆性石ケン液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で30分間以上浸すこと。

解 答 用 紙

【公衆衛生に関する知識】

受験番号	氏 名

問1 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	×	○	×

問2 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
①	②	②	①	②

問3 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
B	C	F	A	G

問4 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	○	○	×	○

問5 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	×	○	○	○